

# 2024 年度普及啓発事業について

## 1 交流セミナーの開催

手話言語及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段等を広く県民に普及啓発するためのセミナーを開催する。今年度は発達障害を中心に取り上げることとし、ゲストや解説の構成もそれを踏まえたものとする。

### 【開催内容】（現在、受託事業者と協議中）

○タイトル『互いに理解し、ともに生きるために

～発達障害を通して、多様なコミュニケーションと共生社会を考える～』

○日時 2024年9月下旬

※中日新聞社主催の医療健康に関する総合展「中日健康フェア」内のプログラムとして開催。

○会場 ウィンクあいち 大ホール

○定員 400名程度（後日、YouTube による録画配信を定員100名程度として実施）

※会場参加、動画（録画）視聴参加いずれも Web による応募、抽選により参加者を決定。

### ○全体スケジュール

時間	内容
10:00～10:05	オープニング・主催挨拶 等
10:05～10:40	小島慶子氏（ゲスト）トークショー「みんな違ってみんな『ふつう』～ひとりの ADHD 当事者として考えること～」
10:40～11:30	みんなで学ぼう！さまざまな、コミュニケーション方法

### <各コーナー詳細>

#### ・小島慶子氏トークショー「みんな違ってみんな『ふつう』～ひとりの ADHD 当事者として考えること」

ゲストの小島慶子氏自身の経験などを交え、MC とのかけ合いにより、「人は障害の有無にかかわらず、同じ人は一人として存在しない」ということを伝えていただく。

また、来場者を巻き込む企画として質問コーナーを開催する。

#### ・みんなで学ぼう！さまざまな、コミュニケーション方法

柏倉部会長を講師として、障害の特性に応じた幅広いコミュニケーション手段について取り上げる。全体スライドや動画などを交え解説を行っていただく。

（講師の解説内容（例））※詳細は、今後、受託事業者を交えて検討予定。

- ・視覚障害 視覚に障害のある方への配慮、コミュニケーション手段は？  
視覚障害の特性や介助・配慮のポイントなど  
※古家委員と盲導犬の様子を動画で紹介。

- ・聴覚障害 聴覚に障害がある方への配慮、コミュニケーション手段は？  
手話や要約筆記の豆知識など  
※セミナー全体を通じて、会場に手話通訳者、要約筆記（全体投影）を設置し、コミュニケーション手段の実演を見てもらう機会とする。

- ・発達障害、知的障害  
発達・知的障害がある方への配慮、コミュニケーション手段は？  
ゲストの小島氏を交えて解説。

- ・盲ろう 聴覚・視覚ともに障害がある方への配慮、コミュニケーション手段は？  
※金政委員の触手話等を使用したコミュニケーションの様子を動画で紹介。
- ・ALS、肢体不自由  
神経や筋肉等に障害がある方への配慮、コミュニケーション手段は？  
ALSや肢体不自由についての素朴な疑問など  
※当事者である川西氏の文字盤を使ったコミュニケーションの様子を動画で紹介。

## 2 コミュニケーション支援アプリの運用、周知活動

### ○今年度は、「交通機関」の表示項目を追加

私（障害のある方）から伝える項目を追加

- ・「〇〇はどこですか」という項目のバリエーションとして、出口、きっぷうりば、コインロッカー、エレベーター、キャッシュサービス、売店など駅や空港に設置されている施設を追加
- ・「〇〇までいきたい」に対して、指さしで時間や金額を伝えられるよう数字を表示。
- ・「落とし物をした」「落とし物を拾った」といった項目を追加。
- ・「落とし物をした」「落とし物を拾った」の選択肢として、傘、財布、かばん、きっぷ、携帯電話、鍵など事例の多いものを追加

○昨年度増刷したチラシを活用し、県の行事・研修において周知活動を実施。

## 3 市町村向け避難所コミュニケーションセミナーの開催

障害のある方々が災害時の避難所において必要な情報を得られやすくする取組や、既に避難所でのコミュニケーション手段を導入している取組事例を紹介することなどにより、避難所での情報格差の解消を図ることを目的とする。

○日時 2024年11月22日（金）午後

○会場 愛知県自治センター12階会議室E

○対象 市町村の福祉及び防災担当の職員（100名程度）

○内容

### ・障害者支援施設、団体等による講演

過去の災害において、障害者が避難所で置かれていた状況の問題点について。

### ・先進的な取組を行う市町村や団体等による事例紹介

県内市町村が避難所に導入しているコミュニケーション支援の取組事例の紹介（聴覚障害者向けアイ・ドラゴン4など）。

能登半島地震における最新の取り組み事例の紹介

（視覚障害者向けコード点字ブロックなど）。

### ・市町村職員同士のグループワークの実施

避難所において障害者が取得できる情報の格差を解消するための取組について。

### ・県による行政説明

コミュニケーション支援アプリの紹介など。